



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,549	2.7	105	—	134	974.6	62	—
23年3月期第1四半期	10,274	△0.4	△4	—	12	—	△42	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 84百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △91百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.20	—
23年3月期第1四半期	△2.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,229	7,858	37.0
23年3月期	19,659	7,774	39.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,858百万円 23年3月期 7,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想につきましては、未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	△0.1	△50	△87.5	△20	△94.6	△100	△66.2	△5.10
通期	39,500	3.3	80	—	140	—	65	—	3.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日(平成23年8月9日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	20,102,000 株	23年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	497,762 株	23年3月期	497,086 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	19,604,394 株	23年3月期1Q	19,862,236 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動が低下し、さらに原発事故による電力供給不足や放射能汚染問題等から消費マインドが冷え込み、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、①IT技術を駆使して効率化を推進するとともに、量から質へ、売上指向から利益指向への転換を進め、高付加価値低コスト経営の会社に変革すること、②自社品を拡充し、メーカーポジションを確立すること、③効率的・機能的流通業態「FIMA（流通統合管理機構）」を確立することを基本方針とし、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,549百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は105百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）、経常利益は134百万円（前年同四半期比974.6%増）、四半期純利益は62百万円（前年同四半期は四半期純損失42百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、東日本大震災による自粛ムードが拡大するなか、スポーツの大会やイベントの中止が相次ぎ、東日本の一部地域においては、学校の体育館や校庭が使用出来なくなるなど、クラブ活動にも影響がありました。また、個人消費は一段と冷え込み、厳しい状況が続きました。このような状況の中で、「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットにおいては、野球・ソフト用品、サッカー用品、テニス・バドミントン用品は低調に推移したものの、バスケットボール用品は、「コンバース」ブランドの昇華プリントゲームウェアが消費者に支持を得て堅調に推移し、ランニングブームによりスポーツシューズの販売も、引き続き好調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、前期と比べ在庫処理販売が一段落したこともあり、スポーツアパレル・フットウェアは堅調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは消費者の健康志向は引き続き高いものの、競合商品とのより一層の販売競争激化により、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,829百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。

(製造部門)

製造部門は、商品企画、開発力、品質管理を強化し、メーカーポジションの確立に努めたものの、野球・ソフト用品は卸売部門と同様に苦戦を強いられました。バスケットボール用品は、「コンバース」ブランドの昇華プリントゲームウェアや機能ソックスが市場で引き続き好評価を得たことにより、堅調に推移いたしました。健康関連用品は、野球専用の「加圧」トレーニングウェアは堅調に推移したものの、「コンプレッション」アンダーウェアの「4DM」は競合商品との競争激化の中、販売促進強化に努めましたが、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は164百万円（前年同四半期比13.6%減）となりました。

(小売部門)

小売部門は、長引く個人消費の低迷に加え、東日本大震災の影響により消費マインドはより一層悪化し、アウトドア用品の一部においては震災特需が見られたものの、全体をカバーするまでには至らず、アウトドア用品・アパレル・フットウェアは苦戦を強いられ、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は206百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

(その他)

物流部門は、小口多頻度出荷や流通加工増加によりコストアップするなか、作業効率の改善に努めるとともに、外部の受託業務を拡大したことにより、堅調に推移いたしました。スポーツ施設運営部門は、春先の新規会員獲得のための販売促進活動を強化したこともあり、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は349百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,569百万円増加し、21,229百万円となりました。これは主に、現金及び預金が778百万円、受取手形及び売掛金が648百万円増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ1,485百万円増加し、13,370百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,597百万円増加したこと等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、7,858百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が62百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年5月16日公表の平成23年3月期決算短信において、東日本大震災の影響により、合理的な算定が困難であることから、未定としておりましたが、最近の状況及び業績の動向を踏まえ開示いたしました。

詳細につきましては、本日(平成23年8月9日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565	3,344
受取手形及び売掛金	7,931	8,580
商品及び製品	2,940	3,134
仕掛品	66	59
原材料及び貯蔵品	64	88
繰延税金資産	252	187
その他	171	193
貸倒引当金	△16	△22
流動資産合計	13,975	15,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,230	4,230
減価償却累計額	△2,784	△2,807
建物及び構築物(純額)	1,445	1,422
土地	2,443	2,443
その他	1,244	1,257
減価償却累計額	△969	△991
その他(純額)	274	265
有形固定資産合計	4,164	4,131
無形固定資産		
その他	54	52
無形固定資産合計	54	52
投資その他の資産		
投資有価証券	689	721
長期貸付金	53	56
敷金	356	346
繰延税金資産	8	8
その他	462	455
貸倒引当金	△105	△107
投資その他の資産合計	1,465	1,479
固定資産合計	5,684	5,664
資産合計	19,659	21,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,526	9,123
短期借入金	1,207	1,175
未払法人税等	17	9
未払消費税等	17	59
賞与引当金	259	137
その他	859	935
流動負債合計	9,887	11,441
固定負債		
長期借入金	363	276
繰延税金負債	120	133
退職給付引当金	312	317
長期未払金	325	324
その他	876	878
固定負債合計	1,998	1,929
負債合計	11,885	13,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,698	3,760
自己株式	△70	△70
株主資本合計	7,601	7,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	194
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△3	0
その他の包括利益累計額合計	172	194
少数株主持分	—	—
純資産合計	7,774	7,858
負債純資産合計	19,659	21,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	10,274	10,549
売上原価	7,763	8,303
売上総利益	2,510	2,246
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	183	161
運賃及び荷造費	161	156
賃借料	111	97
役員報酬及び給料手当	771	733
貸倒引当金繰入額	20	6
賞与引当金繰入額	158	129
減価償却費	44	43
その他	1,064	810
販売費及び一般管理費合計	2,515	2,140
営業利益又は営業損失(△)	△4	105
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	10
受取賃貸料	5	4
業務受託料	6	3
その他	13	25
営業外収益合計	35	44
営業外費用		
支払利息	5	3
売上割引	11	10
その他	1	1
営業外費用合計	18	15
経常利益	12	134
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
投資有価証券評価損	25	—
リース解約損	23	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	—
特別損失合計	58	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42	134
法人税、住民税及び事業税	61	6
法人税等調整額	△60	65
法人税等合計	0	72
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△42	62
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42	62

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△42	62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	17
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	2	4
その他の包括利益合計	△48	21
四半期包括利益	△91	84
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91	84
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。